

昨日の敵は今日の友？

前畑 真実

この春より、きしわだ自然資料館でアドバイザーとしてお世話になっております。3 年ほど前まで、自然観察の森のレンジャーという仕事をしていました。現在は伊丹市昆虫館で、非常勤学芸員の仕事をしています。自己紹介はさておき、今回は私のライフパートナーである虫！とくにイモムシのお話をしたいと思います（図 1）。

「虫きらい！気持ち悪い！怖い！」という声をよく耳にします。かくいう私も、以前は虫があまり好きではありませんでした。でも、生き物相手の仕事をするうえで虫は避けては通れなかったのです。それがどうしてこんなにも「大好き」になったのか...？それは飼育をしたからです。

「気持ち悪いなあ・・・」と思っていたのが、「なんてかわいい生き物なの！」というふうに、突然変化が起こったのです。近くで観察するにつれ、みればみるほどにかわいい生き物！不思議だなあ・・・という変化、これは私だけではないはずです。

今回は、卵から幼虫、そして蛹から成虫へと育つ「完全変態」の過程を観察できるチョウやガの幼虫の飼育について紹介したいと思います。

その 1. まずは食草を知ろう！

飼育するには、幼虫期の食草を知るのがもっとも重要です（図 2）。たとえばアゲハは、サンショウの葉も食べれば、柑橘類の葉も食べます。同じ柑橘類を食べる仲間では、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハもいます。で

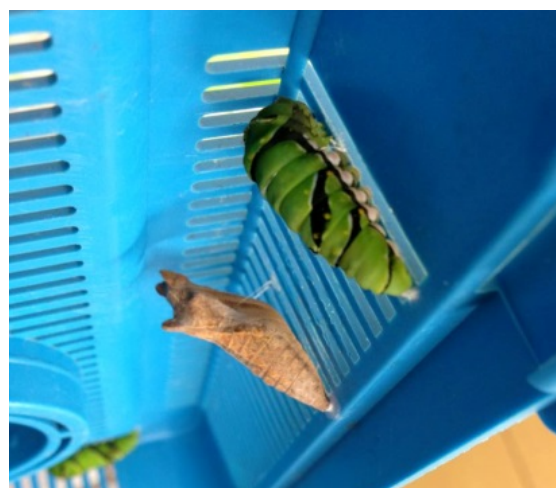


図 1. アゲハの蛹と蛹になる準備をしている幼虫



図 2. イモムシや食草のハンドブックなど



図 3. ヤブガラシを食べるセスジスズメの幼虫



図 4. 毒に注意！チャドクガの幼虫



図 5. まったく毒のないヒトリガの幼虫



図 6. まるでおもちゃのようなシンジュサンの幼虫

すが、キアゲハはパセリやニンジンの葉を、アオスジアゲハはクスノキの葉を食べるなど、アゲハチョウの仲間だけでも食草に大きな違いがあります（図 3）。

チョウもガも、自分の食べる食草にしか卵を産まないの
で、見つけた幼虫のいた植物が食草になります。私はとり
あえず、どんな幼虫でも見つけたら連れて帰り、その葉を
食べさせます。幼虫がどの種なのかは、成虫になってみて
からのお楽しみなのです！中には図鑑やインターネット
で調べるとわかるものもありますが、いろんな種類を飼育し
ていると、この仲間かな？ということがだんだんわかって
きます。

その 2. 危険な幼虫を知ろう！

毛虫は、どんな種類でもさわったらだめだと思われがち
ですが、じつは毒があるものはほんの数種だけなのです。
これは絶対だめというのは意外に少ないので、覚えておく
ことをお勧めします（アレルギーをお持ちの方はとくに注
意が必要です）（図 4, 5）。

毛虫の中にもすごくかわいい種類がたくさんいます。さ
わるとふさふさで、まるでほ乳類のようなさわり心地のも
のがあります。子どもたちにこのかわいさを伝えたい！と、
私はいつも思っています（図 6）。

知れば納得のかわいさ！

一部に農作物を食い荒らすものがいるので、イモムシや
毛虫たちの多くは害虫扱いされています。嫌われるが故に、
昔よりずっと数が減っているのが現状です。でもこのイモ
ムシたちは、鳥など他の動物のえさにもなるのです。子育て
中の鳥たちがせっせと集めるイモムシたち！立派に生態系
の一員なのです。

最近よくいわれるようになった「生物多様性」という言葉
の意味を子どもたちに伝えるためにも、生態系の中で大切
な役割を担っているイモムシたちを身近に感じられる
「飼育」に挑戦してみてもいいかもしれません。飼育にどう
しても抵抗がある場合は、庭に来てほしいチョウやガの食草
を植え、「バタフライガーデン」にして楽しむのも方法の
ひとつです。もっとも身近で飼育もしやすく、何より愛ら
しいイモムシと子どもたちが友達になれるように。

「泉佐野市立歴史館いずみさの」で、学ぶ・体験する！

北原 翔子

「泉佐野市立歴史館いずみさの」について

泉佐野市には、代表的な歴史遺産のひとつとして中世の荘園「日根荘^{ひねのしょう}」があります。日根荘は、鎌倉時代から戦国時代にかけて存在した九条家の荘園で、平成10年に国の史跡に指定されています。

「泉佐野市立歴史館いずみさの」は、日根荘を中心にした中世の荘園を紹介する博物館です。常設展示室には、日根荘に関する史料や中世の人びとの暮らしに関わる資料、荘園の復元模型などを展示しています（図1）。実は、日根荘の開発には岸和田市の久米田寺が深く関わっており、1316年に久米田寺が作成したとされる日根荘の絵図（複製）も展示しています。また、民具資料を触ることができるコーナーも設けており、昔の暮らしの学習にもつながります。当館は入館無料で、学校の遠足など団体見学の受け入れも随時行っています。このほか、難しい・分かりにくいと思われるがちな「歴史学習」を、楽しく・分かりやすくすることで、子供たちが歴史に興味を持つような活動も展開しています。



図1. 常設展示室のようす。



図2. 出前授業のようす。

しっかり学ぶ「出前授業」

当館スタッフが学校や史跡に赴き、日根荘や樗井合戦など泉佐野に関する歴史の解説を行います（図2）。主にフィールドワークの事前学習や、地域学習の一環として利用していただいています。特に、現地見学を含めた出前授業は、歴史をより身近に感じながら学習できる効果があります。

楽しく学ぶ「土曜れきし館ワークショップ」

体験を通じて歴史への興味関心を持っていただく目的で、「土曜れきし館ワークショップ」を月1回・土曜日に開催しています。開催中の特別展や泉佐野の歴史・産業などに関連づけた体験内容を企画し、家族や友達と一緒に楽しんで学習できるように工夫しています。

このように、当館はみなさまの学習に活用していただけるよう、様々な事業を展開しています。打ち合わせを通じてご要望をお伺いしながら、新しい学習を目指していきたいと考えています。当館のご利用に関するお問い合わせは、お電話（072-469-7140）または、直接窓口へお願いいたします。また、Facebookで館の活動紹介やイベントの告知などの最新情報を発信していますので、あわせてご覧ください（<http://www.facebook.com/rekishikan.izumisano/>）。

（きたはら しょうこ：泉佐野市立歴史館いずみさの）

Information

■自然資料館の展示案内■

巡回展「イチ押し！瀬戸内海 of 自然トピックス」

瀬戸内海は、西と東で外海とは切り離された波の穏やかな海です。700をこえる島嶼や、それらがつくる海峡、複雑な海底地形、潮流は、さまざまな生き物を育んできました。今回の巡回展では、瀬戸内海の特徴的な自然をトピック形式で紹介します。

日 時：2016年11月3日（木・祝）～11月29日（火）

午前10時～午後5時（入場は午後4時まで）

場 所：自然資料館 1階ホール

入場料：巡回展のみの見学は無料

休館日：毎週月曜日

協 力：大阪市立自然史博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク

■岸和田城の展示案内■

企画展「世界かんがい施設遺産 久米田池」

大阪府史跡・名勝である久米田池が平成27年10月に世界かんがい施設遺産に登録されました。今回の企画展では、久米田池が、灌漑用水として地域生活とどのように結びついているのかを紹介します。

日 時：2016年9月7日（水）～2017年1月15日（日）

午前10時～午後5時（入場は午後4時まで）

場 所：岸和田城天守閣 2階展示室

入場料：大人 300円、中学生以下無料

■自然資料館の行事案内■

地質巡検「地元の地質探訪」

岸和田周辺の大地がどのようにできたのかを知る観察会です。専門家と一緒に、地層を観察しまし

よう。移動はバスで行います。

日 時：2016年12月4日（日）午前10時～午後4時30分

場 所：泉州地域の地層

講 師：濱塚博氏（当館アドバイザー）

対 象：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

定 員：20名（定員を超えた場合は抽選）

申 込：往復はがき又は電子メールに「地質巡検」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、11月24日（月）までに届くように、きしわだ自然資料館までお申し込みください。

【きしわだ自然友の会 会員募集】

きしわだ自然友の会は、自然資料館と協力し、独自の行事や出展、会誌などを通して自然を楽しく学んでいる団体です。

自然が好きで、生物や地学をもっと楽しみたい・学びたい人は、ぜひご入会ください。未就学児の方も参加できる行事も多数あります。

学校園の授業に活用できるプログラムもあります。

・対 象：身近な自然に興味のある個人・家族

・期 間：4月1日～翌年3月31日

・費 用：個人会員年間 2,000円（中学生以上の人が1人で入る場合）・家族会員 3,000円（同居家族全員が対象）、特別会員年会費 10,000円（友の会を援助して下さる人・団体）

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館

TEL: (072) 423-8100 FAX: (072) 423-8101

Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ URL:

<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

（Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し、検索すれば、簡単です）